

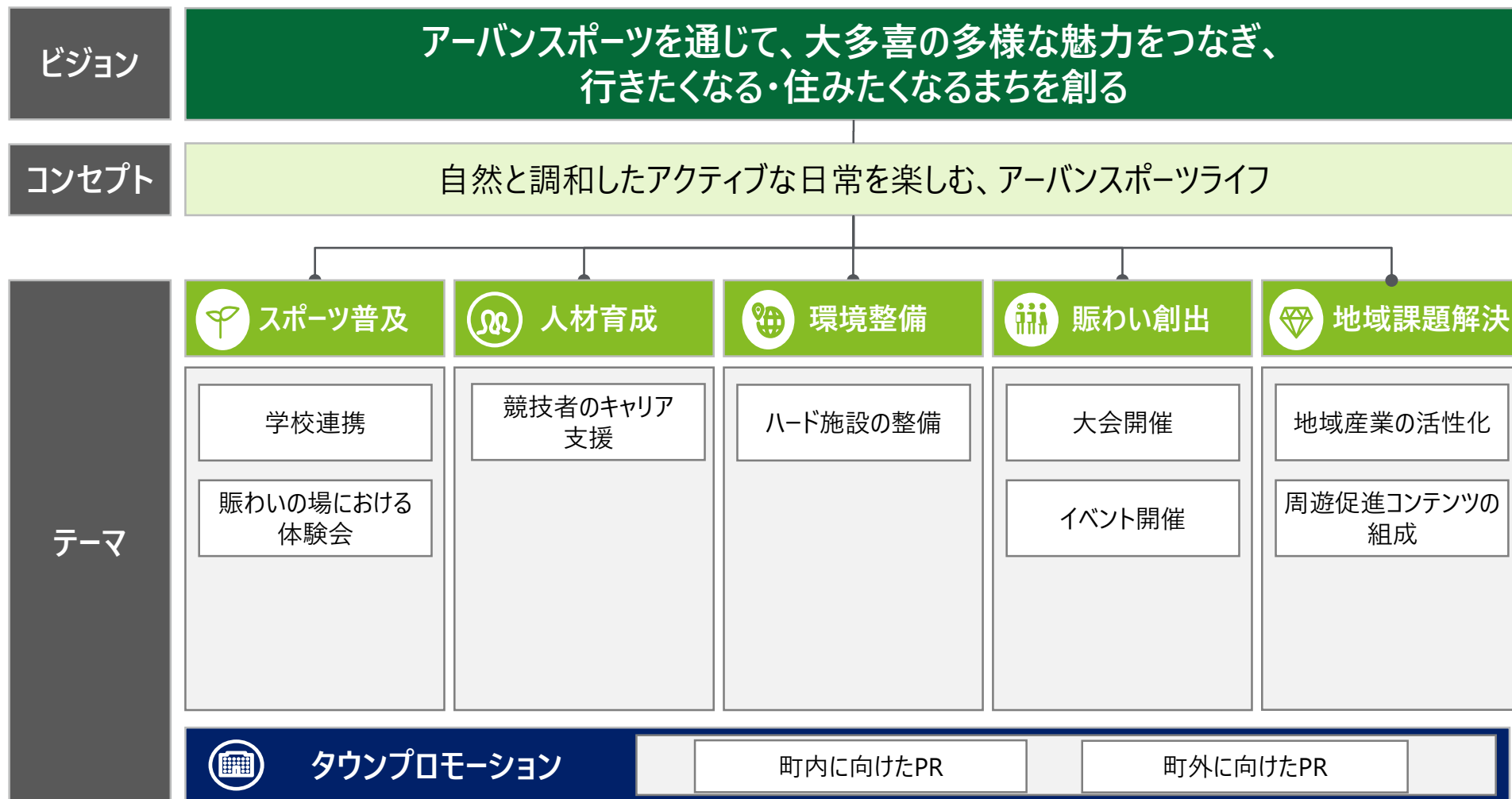


大多喜町アーバンスポーツ推進計画に基づいた事業推進

令和7年度の実施計画

大多喜町では、若者世代の呼び込みを目指し、以下のようなビジョン、コンセプト、テーマを掲げながら、アーバンスポーツ振興によるまちづくりを行っています

推進計画の全体像



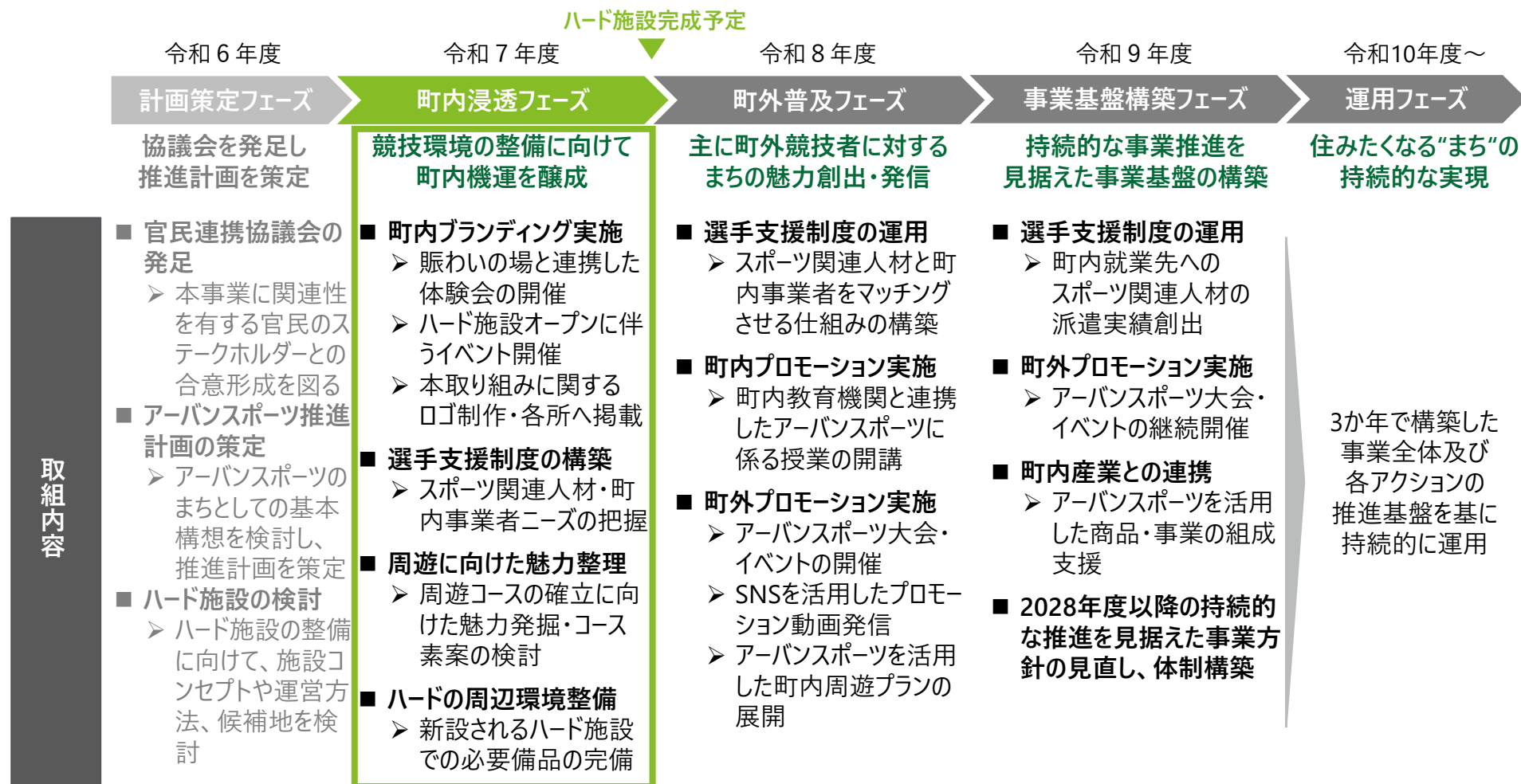
アーバンスポーツのまちを実現するために、9つのアクションを推進しています

事業テーマに紐づくアクション

	テーマ	アクション	概要	想定実施時期
↑ スポーツ推進 ↓	スポーツ普及	1 学校連携	・ 大多喜町内の教育機関と連携したアーバンスポーツ授業の開講（体験・総合学習等）や、地域クラブチームとの連携によるアーバンスポーツ部設立	令和8年度～
		2 賑わいの場における体験会	・ 人の集まる場（商業施設・公園・イベント等）におけるアーバンスポーツ各種目の体験会開催	令和7年度～
	選手支援	3 スポーツ関連人材のキャリア支援	・ アーバンスポーツ関連の仕事と人材不足に悩む町内産業の担い手としての仕事を両立するキャリアモデルの構築	令和7年度～
	スポーツ環境整備	4 ハード施設の整備	・ アーバンスポーツを初・中級者が楽しめる施設を整備 ・ 上記以外にもアーバンスポーツ等を楽しめる施設の整備に向けた検討	令和6年度～
	賑わい創出	5 大会・イベントの開催	・ アーバンスポーツ無関心層も訪れたいコンテンツを組み込んだ、町内・関東圏から愛好家が集まる「アーバンスポーツのまち」を象徴する大会を開催	令和8年度～
↑ まちづくり連携 ↓	地域課題解決	6 地域産業との連携促進	・ 大多喜町で担い手不足の産業とその課題を特定し、解決に向けアスリートとの人材連携を促進 ・ アーバンスポーツを活用し、町内事業者との新規事業や取り組みを組成	令和7年度～
		7 周遊促進コンテンツの組成	・ アーバンスポーツを活用し、町内観光資源等の周遊を促進させるコースの設計	令和8年度～
	タウンプロモーション	8 町内に向けたPR	・ 大多喜町のアーバンスポーツ推進のシンボルとして、町内の集まりや活動でも利用可能なロゴ等を制作し、町内外に向けて発信	令和7年度～
		9 町外に向けたPR	・ 「アーバンスポーツのまち」及び大多喜町の魅力を町外へPRするためのコンテンツを生み出し、SNSを中心として発信	令和8年度～

令和7年度は、町内の理解度向上と協力意向の醸成を目指し、各種施策を実施しました

本事業の今後の取り組み内容



協議会は計3回開催し、参加者へ各アクションの検討状況の報告、意見出しを行いながら本取組を推進してきました

協議会の想定アジェンダ

回数	第1回	第2回	第3回
時期	2025年10月23日	2025年12月17日	2026年3月3日
目的	✓ 本会議・分科会の位置づけ共有 ✓ 年度内スケジュールの共有	✓ 各分科会における討議内容の報告 ✓ パンプトラック整備に関する進捗共有	✓ 今年度の活動実績共有 ✓ 次年度の協議会、個別事業案の実施方針共有
議題	① 本事業の背景・目的の共有 ② 本事業の実施方針の共有 ③ 各分科会のスケジュール・メンバーの共有	① パンプトラック整備に関する進捗共有 ② 各分科会方針共有 ③ 体験会実施方針合意 ④ 次回以降の協議会スケジュールの共有	① 事業成果共有 ② 次年度協議会実施方針共有 ③ 各アクションの次年度方案の共有

町内ブランディング事業として、まずはアーバンスポーツに係る取り組みの認知状況を把握するため、アンケートを実施しました

アンケート実施概要

1.学校連携

2.体験会

3.キャリア支援

4.施設整備

6.地域連携

7.周遊促進

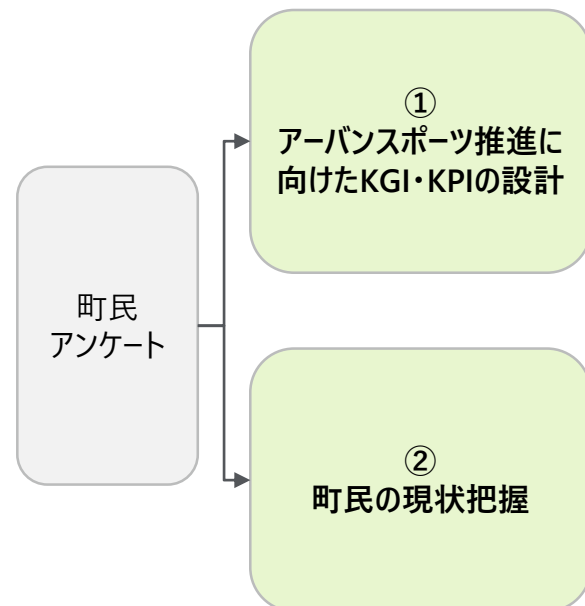
8.町内PR

町民アンケート実施方針

大多喜町アーバンスポーツ推進に対する 町民アンケートを実施

■ アンケートの目的

大多喜町アーバンスポーツ推進に向けたKGI・KPI設計と現時点の町民の浸透状況把握を目的とした町民アンケートを実施



■ 回収時期

- ・ 10月中旬（～10/21）

■ 回収方法

- ・ フォームス：おおたき通信、すぐーる（教育現場向け連絡システム）、大多喜高校でのリンク配布
→本協議会にてフォームスでの回答結果を共有（次ページ）
- ・ 紙配布：町内中学校での配布

■ 設問

※基本情報（年代、性別等）

- ・ アーバンスポーツ(BMX、3×3等)を知っていますか？
- ・ 各種目を体験したことがありますか？
- ・ 大多喜町で、アーバンスポーツを活用してまちを盛り上げようとしていることをご存じですか？
- ・ アーバンスポーツで大多喜町を盛り上げるためには、どんなことをすれば良いと思いますか？
- ・ 大多喜町では、パンプトラックの建設が予定されています。完成後、施設を利用してみたいと思いますか？
- ・ どのような設備、イベント、メリット等があれば、利用したくなりますか？

小中学生214名と、高校生以上の一般304名から回答をいただきました

フォームでの回答結果サマリ (1/3)

1.学校連携

2.体験会

3.キャリア支援

4.施設整備

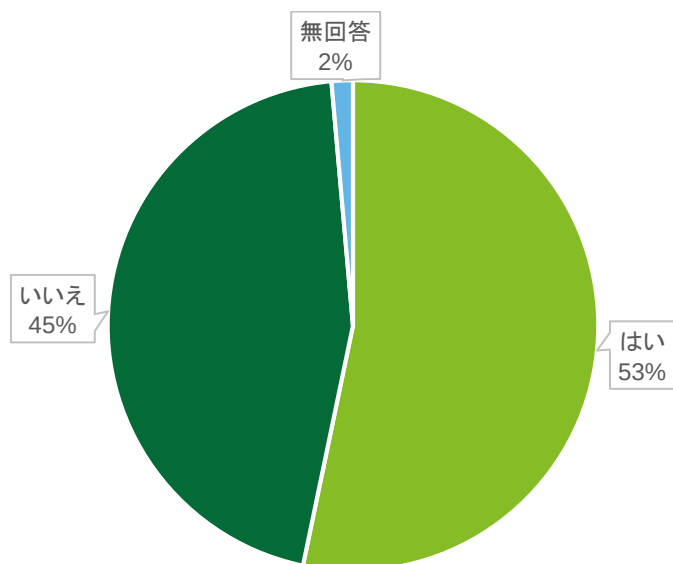
6.地域連携

7.周遊促進

8.町内PR

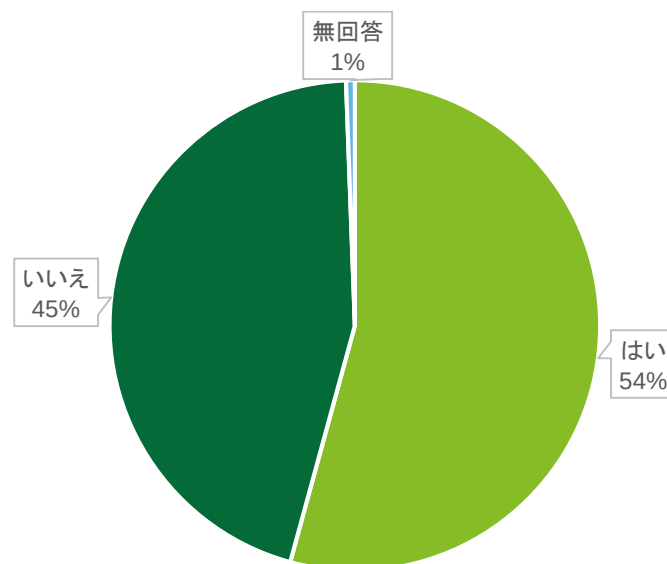
Q1 アーバンスポーツ(BMX、3×3、スケボー等)を知っていましたか？

小中学生(214名)



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

全体(518名)



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

世代に関係なく、約半数の方がアーバンスポーツを認知
→ 今後、認知率の向上を目指す

小中学生214名と、高校生以上の一般304名から回答をいただきました

フォームでの回答結果サマリ（2/3）

1.学校連携

2.体験会

3.キャリア支援

4.施設整備

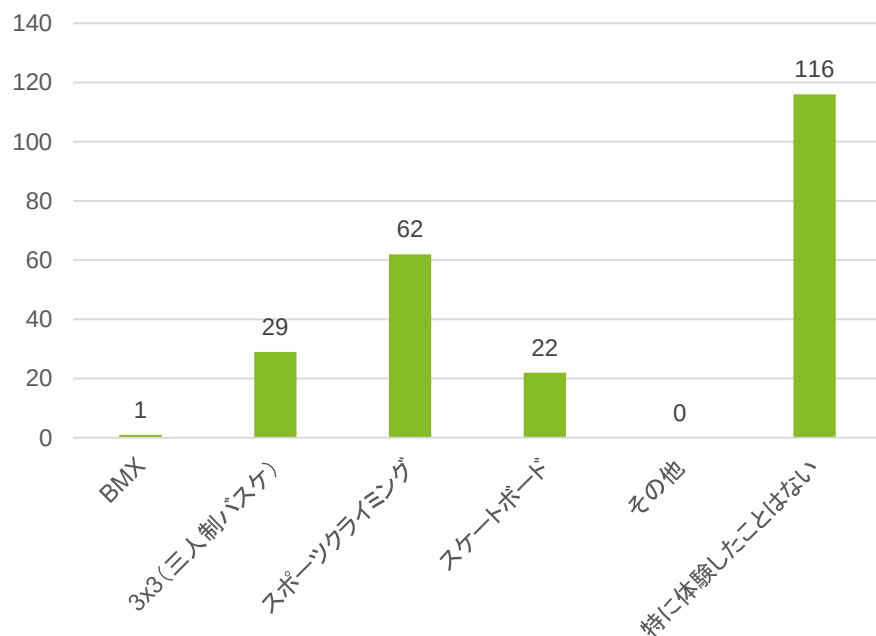
6.地域連携

7.周遊促進

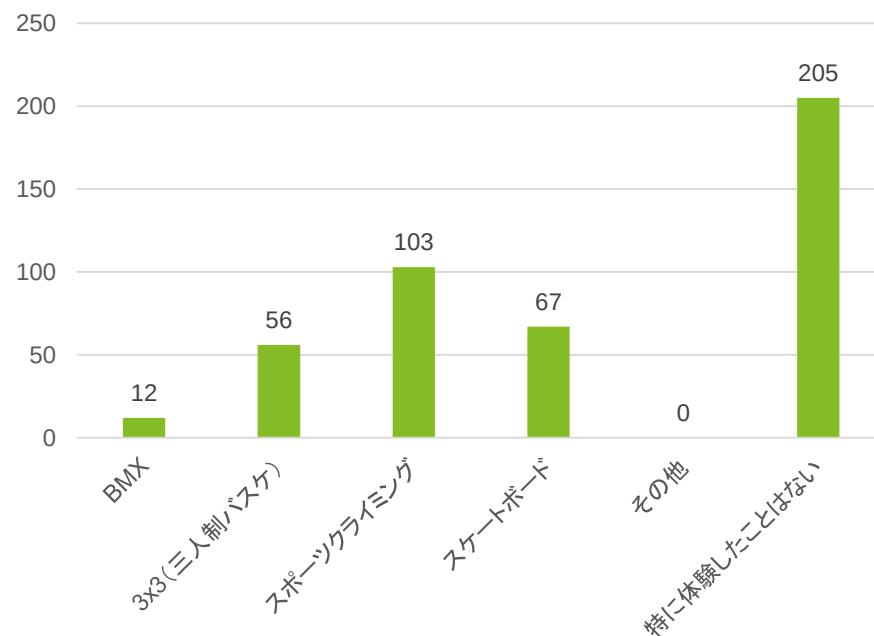
8.町内PR

Q2 体験したことがあるアーバンスポーツ種目があれば教えてください（複数回答可）

小中学生(214名)



全体(518名)



小中学生ではスポーツクライミングの体験者割合が高いものの、4~5割の方がアーバンスポーツを未体験
→今後、パンプトラックを活用し、BMXを中心に体験者割合の増加を目指す

小中学生214名と、高校生以上の一般304名から回答をいただきました

フォームでの回答結果サマリ (3/3)

1.学校連携

2.体験会

3.キャリア支援

4.施設整備

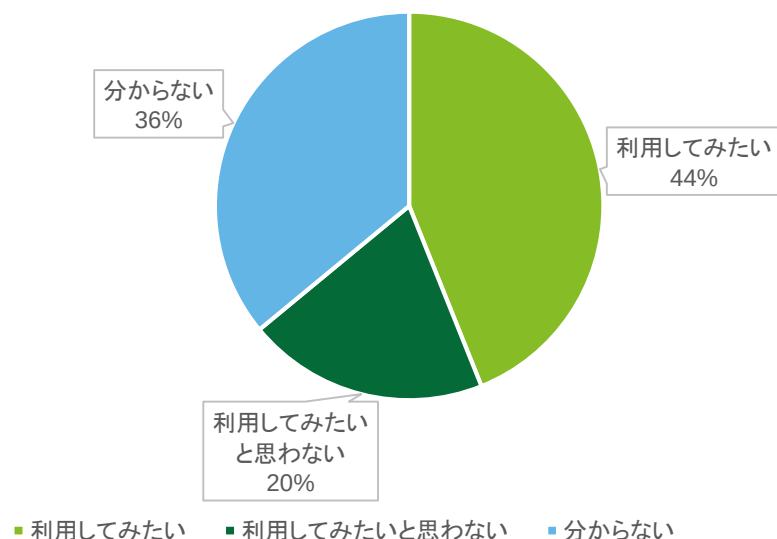
6.地域連携

7.周遊促進

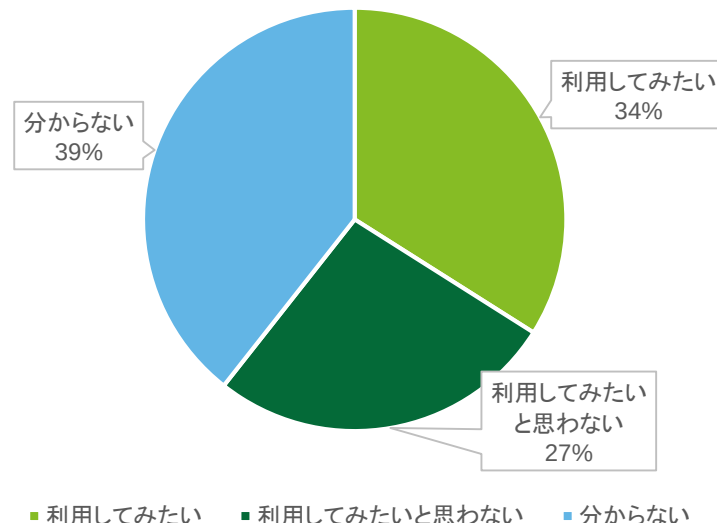
8.町内PR

Q4 大多喜町では、パンプトラックの建設が予定されています。完成後、この施設を利用してみたいと思いますか？

小中学生(214名)



全体(518名)



全世代では「分からない」という回答が多いものの、小中学生からは半数弱が利用に関しての関心あり
→今後、小中学生を中心に、パンプトラックに来訪してアーバンスポーツを体験する機会を設けていく

アーバンスポーツ推進のシンボルとして、 町内の集まりや活動で利用可能なロゴマークを制作しました

ロゴマーク作成結果

1.学校連携

2.体験会

3.キャリア支援

4.施設整備

6.地域連携

7.周遊促進

8.町内PR

- 本事業から発信する広報媒体や町関連の制作物などに掲載できる、本事業用のロゴマークを作成

おたっきーのシンボル

BMX



3 x 3 (3人制バスケ)



スケボー



ロゴタイプ



本事業を町内に発信・周知を図るためにリーフレットを制作しました。 今後、町内外への展開を目指します

広報物の制作方針

1.学校連携

2.体験会

3.キャリア支援

4.施設整備

6.地域連携

7.周遊促進

8.町内PR

アーバンスポーツとは何か・どのような魅力があるのか？から、プロジェクトの立ち上げ背景、各アクションでの想定内容、この事業で目指す将来像を紹介するリーフレットを制作



3/8（日）には、小学生から大人を対象にBMX・スケートボード・3x3の体験会を開催し、町内外から約160名が集まる賑わいのあるイベントとなりました

体験会の開催概要

1.学校連携

2.体験会

3.キャリア支援

4.施設整備

6.地域連携

7.周遊促進

8.町内PR

実施概要

- BMX・スケートボード・3x3のトップ講師によるアーバンスポーツ体験会を開催

対象

- ✓ 小学生・中学生・高校生・一般
- ※参加費無料

開催日程

- ✓ 3/8（日）11~14時

場所

- ✓ おおたきショッピングプラザ・オリブ北側駐車場

- 参加者へは、参加賞として本取組で作成したロゴを使用したステッカーを作成・配布



コンテンツ

- 各種目2名ずつトップ講師にお越しいただき、各回5名程度でのレッスンを提供

BMX



BMX レーシング
元全日本チャンピオン

佐伯 進

- BMX体験
- パンプトラック体験

SKATE BOARD



World Skate Games
2024 日本代表

西谷 流星



World Skate Games
2024 日本代表

塚本 宗次朗

- スケートボード体験

3x3



3x3.EXE PREMIER リーグ所属
esDGz OTAKI.EXE

- フリースロー体験 等

町内チアチームによるオープニング
やMC・DJによる盛り上げ

CHIEF



OTAKI CLARUS

MC



橋田 ガクシ

BMXは、順番に乗り方の指導や特設パンプトラック体験を実施した他、 トップ講師によるパフォーマンスを行いました

体験会の様子_BMX

1.学校連携

2.体験会

3.キャリア支援

4.施設整備

6.地域連携

7.周遊促進

8.町内PR

< BMX体験 >



スケートボードは、各回5名での体験を計9回実施。2名のトップ講師がマンツーマンで乗り方を指導した他、スピードを競うパフォーマンスを行いました

体験会の様子_スケートボード

1.学校連携

2.体験会

3.キャリア支援

4.施設整備

6.地域連携

7.周遊促進

8.町内PR

<スケートボード体験>



3x3は、esDGz OTAKI.EXEの選手2名がフリースローチャレンジを中心に、1on1なども実施

体験会の様子_3x3

1.学校連携

2.体験会

3.キャリア支援

4.施設整備

6.地域連携

7.周遊促進

8.町内PR

<フリースロー体験>

<1on1>



周遊マップの制作も進めており、主要観光スポットである大多喜エリア、老川エリアを中心に、各エリアへの接点創出に資するコースとして3つのモデルコースを検討しています

モデルコース仮説・検証ポイント

1.学校連携

2.体験会

3.キャリア支援

4.施設整備

6.地域連携

7.周遊促進

8.町内PR



モデルコースエリア仮説

- モデルコースとなりうる3コースを検討中
- 今後調査やヒアリングを通して、コース上のスポットを整理し、分科会やターゲット層のモニターによる試走からコース案の検証を図ります

1 大多喜城周辺コース（10km程度）

周遊経路

大多喜駅→上瀑エリア→城下町エリア（→総元エリア）→大多喜駅

2 養老溪谷周辺コース（15km程度）

周遊経路

山の駅 養老溪谷 喜楽里→老川エリア→西畑エリア→山の駅 養老溪谷 喜楽里

3 全域周遊コース（30km程度）

周遊経路

山の駅 養老溪谷 喜楽里→老川エリア→西畑エリア→総元エリア→上瀑エリア

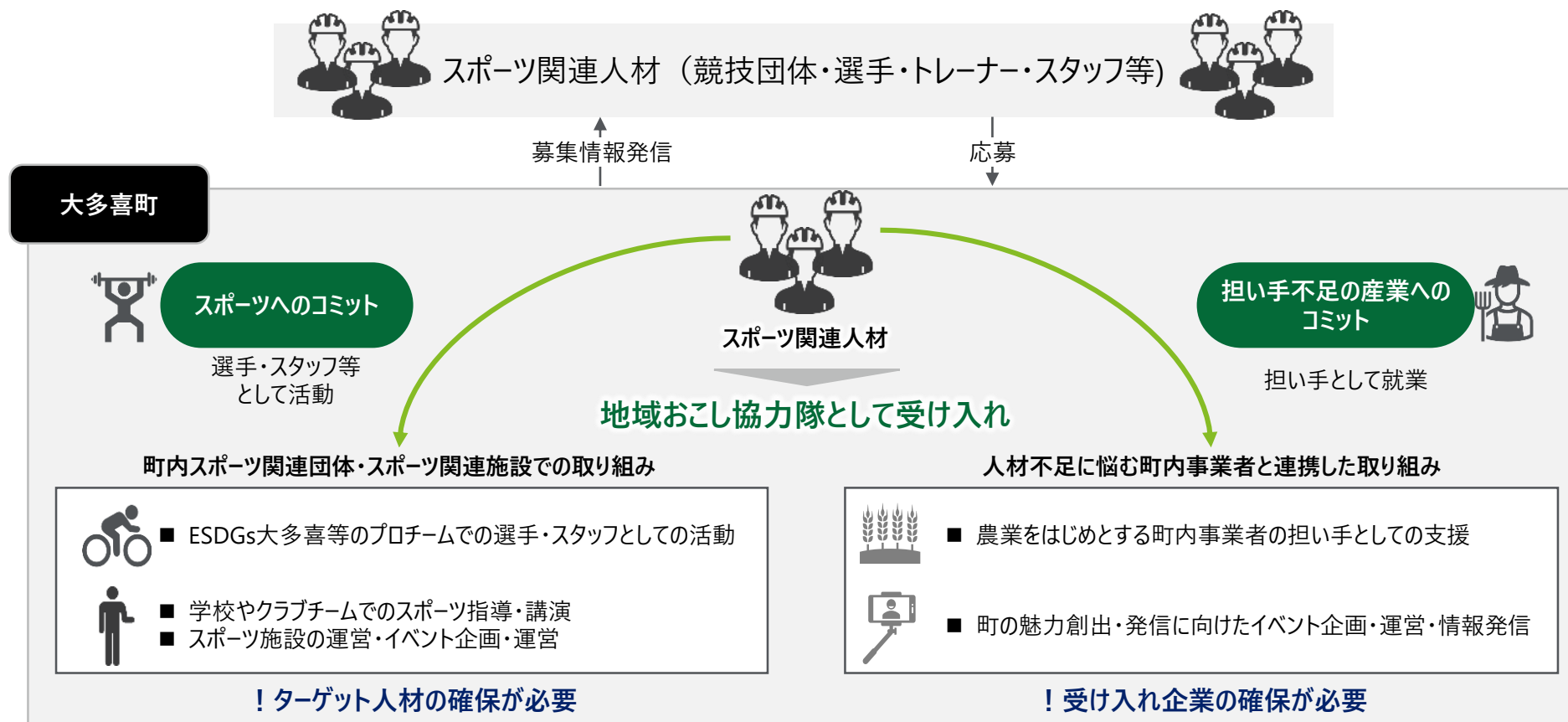
分科会での検証ポイント

- ① コース内に十分な観光資源があるか
- ② サイクリングコースとして魅力があるか

スポーツ関連人材のキャリア形成支援については、町外からの移住・定住を目指し、本人材のニーズに応える環境づくりと、受け入れ側の体制構築の双方に取り組みます

スポーツ関連人材確保のあるべき姿(仮説)

1.学校連携	2.体験会	3.キャリア支援	4.施設整備	6.地域連携	7.周遊促進	8.町内PR
--------	-------	----------	--------	--------	--------	--------



地域おこし協力隊として活動する3年間で町の魅力を知り、仕事と生活の基盤を作ることで、定住につなげていく

令和9年度でのモデルケース組成を目指し、令和7年度においては、ターゲット人材層・町内企業のニーズ調査を行いました

あるべき姿実現に向けたステップ

1.学校連携

2.体験会

3.キャリア支援

4.施設整備

6.地域連携

7.周遊促進

8.町内PR

ステークホルダー掘り起こし

ターゲット人材／町内企業の掘り起こし・ニーズ把握

本アクションにおけるあるべき姿や実現に向けた進め方を合意した上で、地元事業者の実態やニーズを把握する
 ✓ 地元事業者へのヒアリング

本アクションにおけるあるべき姿や実現に向けた進め方を合意した上で、ターゲット人材のニーズを把握する
 ✓ ターゲット人材に対するヒアリング

就業環境の確保

ターゲット人材が就業できる環境を確立

ターゲット人材を受け入れ可能なスキーム環境を作る
 ✓ 前述スキームを実現するためのリソースや就業内容の検討・調整

ターゲット人材が、競技関連の活動と町内での就業の両立を行う意向を固めている状態を目指す
 ✓ ターゲット人材の確保
 ✓ ターゲット人材のニーズを踏まえた就業内容の協議・調整

モデルケース創出

ターゲット人材が町内団体等にて業務に従事している事例を創出

継続してスポーツ関連人材を雇用したい意向が持てることを目指す
 ✓ 貢献度や就業態度、スキル等について定期的にヒアリング
 →必要に応じて、人材側にフィードバックし、改善促進

ターゲット人材が、継続してデュアルキャリア形成したい意志を持つことを目指す
 ✓ 定期的な現状ヒアリング
 →適宜、研修等でフォロー

横展開フェーズ

モデルケースの町内発信→規模拡大

✓ モデルケースの様子を町内へ発信
 →町内への横展開を目指す

✓ モデルケースを競技者に向けて発信
 →移住希望人材の増加を目指す

受入環境の整備

ターゲット人材の確保

以下の方々に対してヒアリングを実施

- ・ 地域おこし協力隊の隊員が従事する町内事業者
- ・ 競技を行いながら、何らか別の仕事も行っている競技者

→いずれの立場においても、事前の業務・期待値設計が非常に重要となることが分かったため、令和8年度においてはまずターゲット人材が従事する活動を具体的に設計／調整していく

学校との連携として、令和8年度に町内小学校向けに体験授業を開催できるよう、学校との調整を行いました

令和8年度の体験会実施概要		1.学校連携	2.体験会	3.キャリア支援	4.施設整備	6.地域連携	7.周遊促進	8.町内PR
目的	✓ 町内の子どもたちが、アーバンスポーツに関心を持つきっかけを作る	学校・児童の準備物 (学校) ✓ 無しの想定 (児童) ✓ 動きやすい服装／靴／水筒 等						
実施内容	✓ BMX、スケボーの乗り方指導を受け、実際に走って体験 ✓ 競技理解のための座学や、トップ指導者によるデモ実演も検討中	当日の流れ(イメージ) 準備・移動 ① 児童・先生がバスに乗り込み移動 体験 ③ 流れや注意点等の全体説明 ④ 指導者によるデモンストレーション ⑤ 体験会 片付け・移動 ⑥ クロージング ⑦ 児童・先生がバスに乗り込み移動						
指導体制	✓ 指導者は本事業側で用意 ※複数名 ✓ 学校の先生には、付き添い及び児童に対する案内の補助として動いていただく想定							
参加者	✓ 小学校3～4年生 ※大多喜小（56名）・西小（27名）							
実施場所	✓ 町内に新設されるパンプトラック							
実施時期	✓ 11/13に開催（授業2コマ枠を使い行事の位置づけとして実施。午前に大多喜小学校、午後に西小学校の想定）							

新設されるパンプトラック施設での使用に向け、 幅広い世代の利用者を想定し必要備品を購入しました

購入品一覧

購入物

- BMX初心者用の自転車 : 11台
子供用から大人用まで各サイズを購入
 - ✓ 14インチ : 3台
 - ✓ 16インチ : 3台
 - ✓ 18インチ : 2台
 - ✓ 20インチ : 3台
- E-bike : 2台
子供から大人まで対応可能な2サイズ（S、M）を購入
- ヘルメット : 14個
大人用・子供用のサイズ展開が一般的に3サイズずつとなるため、各2サイズずつを目安に購入
 - < 大人用 >
 - ✓ (55.5-59cm) : 3個
 - ✓ (59-62cm) : 3個
 - ✓ (60.5-63.5cm) : 1個
 - < 子供用 >
 - ✓ (51.5-54.5cm) : 3個
 - ✓ (54.5-57cm) : 2個
 - ✓ (55.5-59cm) : 2個
- プロテクター : 10個
安全用の身に着けるプロテクターを購入